

令和4年度

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

事業報告書

一般社団法人 日本木材輸出振興協会

目次

第1	木材輸出について	1
第2	令和4年度に実施した事業	
1	分野・テーマ別海外販路開拓支援強化事業（令和3年度補正）	1
2	品目団体輸出力強化支援事業（令和4年度）	2
3	品目団体輸出力強化緊急支援事業（令和3年度補正）	2
4	木材製品輸出拡大実行戦略推進事業（令和4年度）	4
5	輸出先国の規格・基準等に対応した技術開発等支援事業 （令和3年度補正）	6
第3	総務に関する事項	
1	理事会について	7
2	定時総会について	7

第1 木材輸出状況について

令和4年の木材輸出額は527億円（対前年比11.0%増）となり、平成以来最も大きな輸出額となった。

国別では、中国が217億円（前年比1.7%減、シェア41.2%）、フィリピンが145億円（同41.3%増、同27.5%）、米国が62億円（同17.9%増、同11.7%）、韓国が37億円（同1.3%減、同7.0%）、台湾が28億円（同15.9%増、同5.4%）と、この5カ国・地域で全体の93%を占めている。

主な品目別では、丸太が前年比2.4%減の206億円（シェアは前年より5.4ポイント減の39.0%）、製材品・加工材が同4.9%減の98億円（3.1ポイント減の18.7%）となったものの、合板は同47.1%増の115億円（5.4ポイント増の21.8%）と大幅に増加した。

令和4年の輸出額は、米国の住宅ローン金利の上昇やロシアによるウクライナ侵攻、中国におけるロックダウン等による大きな影響があったが、円安や合板価格が高値で推移したこと等により全体として伸びているものとみられる。

また、令和5年の第1四半期の木材輸出は、このような状況下で、主要3品目である丸太（43億円、前年同期比9.7%減）、製材・加工材（15億円、同51.2%減）、合板（30億円、同30.4%増）を合わせて対前年度同月比11.6%減の110億円となっている。

第2 令和4年度に実施した事業

農林水産物・食品の輸出額は2025年までに2兆円、2030年までに5兆円という政府の輸出額目標が設定され、その目標の達成に向けて政府と各品目団体が一体として取り組むことが求められる中、当協会は日本産木材製品にかかる輸出促進の取りまとめ団体として、木材産地・事業者及び関連業界団体・機関とタイアップして、令和4年度は以下の事業に取り組んだ。

1. 分野・テーマ別海外販路開拓支援強化事業（令和3年度補正）

（1）分野・テーマ別のPR活動

- ① 大連輸出入商品交易会への出展・PR
- ② 中国における「日本産建具製品利用促進セミナー」の開催
- ③ 中国での「日本産建具製品利用モデル見学体験会」の開催

(2) 分野・テーマ別の販売促進活動

- ① 「日中建具製品マッチング商談会」のオンライン開催

2. 品目団体輸出力強化支援事業（令和4年度）

(1) 業界関係者共通の輸出に関する課題解決に向けた実証等

- ① 製材・合板等輸出ロット製品用ラッピング課題の解決に向けた実証的取組
- ・ 「製材・合板等輸出ロット製品ラッピング課題検討委員会」の開催（4回）
 - ・ 製材・合板等輸出ロット製品向けラッピングの開発と試作
 - ・ 国内における「輸出ロット製品向けラッピング技法勉強会」の開催（3回）
 - ・ 海外における「日本輸出木材製品ラッピング技法普及説明会」の開催（中国、韓国、台湾各1回）
- ② 中国の標準等に基づくヒノキ・スギの香り成分等分析研究を通じた実証的取組
- ・ ヒノキ&スギの香り成分等の測定分析と検証
 - ・ 中国における「日本産ヒノキ&スギの香り成分等の測定分析結果発表会」の開催

3. 品目団体輸出力強化緊急支援事業（令和3年度補正）

(1) 輸出ターゲット国・地域の市場・規制等調査

- ① 中国、米国、韓国、台湾向け輸出市場動向調査検討委員会」の開催（4回）
- ② 調査分析及び報告書の作成
- ③ 調査成果報告会の開催と情報共有

(2) 海外等におけるジャパンプランドの確立

- ① 内外装材等を用いた材工一体型実証取組によるジャパンウッドの優秀さのアピール
- ・ 中国・江西、昆明、韓国・ナミャンジュにおける「日本産内外装材利用実証モデル」の構築と現場体験会の開催
- ② ジャパンウッドステーション」を活用したプロモーション活動

- ③ 日本産木材製品利用モデル等を活用した見学体験会の開催
 - ・ 中国で4回、韓国で2回、台湾で2回の開催
 - ④ 多様な広報媒体を通じたブランディング（中国、米国、韓国、台湾、ベトナム向け）
 - ⑤ 「日本産木材製品輸出表示指針」の策定及び表示ロゴの作成
 - ・ 「日本産木材輸出表示指針策定検討委員会」の開催（4回）
 - ・ 国内における「日本産木材輸出表示指針説明会」の開催（1回）
- (3) 業界関係者共通の輸出に関する課題解決に向けた実証等
- ① 国内における「日本産木材製品輸出促進セミナー」の開催（7回）
- (4) 海外等における販路開拓活動
- ① 輸出ターゲット国・地域の展示会へのジャパンパビリオンの出展・販促
 - ・ 中国・アモイ・大連、韓国・ソウル、台湾・台北、ベトナム・ホーチミンの展示会への出展
 - ・ バーチャル展示会サイト「Japan Wood International Show」を活用した米国等向け展示・販促
 - ② 海外向け「日本産木材製品利用促進セミナー」の開催
 - ・ 中国向け2回、韓国、台湾、ベトナム向け各1回、米国向けオンデマンド配信
 - ③ マッチング商談支援サイト「Japan Wood Export Link」を活用した販路開拓
 - ④ 海外現地における日本産木材製品の販売・宣伝実証
 - ・ 「日本産木材製品宣伝・販売会」のリアル&オンライン開催（中国で2回、韓国、台湾で各1回）
 - ⑤ マッチング商談会のオンライン開催
 - ・ 日中、日韓、日台木材製品マッチング商談会各2回、日越木材製品マッチング商談会1回
- (5) 相手国ニーズへの対応に必要な業界統一規格等の策定・普及等
- ① 製材輸出標準の策定及び普及活動
 - ・ 「日本産製材輸出標準策定検討委員会」の開催（4回）
 - ・ 国内における「日本産製材輸出標準普及講習会」の開催（5回）

- ・ 海外における「日本産製材輸出標準普及講習会」の開催（中国2回、韓国、台湾各1回）
- ② 米国市場向け高付加価値フェンス材輸出標準の策定及び報告会の開催
 - ・ 検討委員会の開催（4回）
 - ・ 国内における策定報告会の開催（1回）

4. 木材製品輸出拡大実行戦略推進事業（令和4年度）

（1）木材製品輸出産地育成

- ① 木材製品輸出産地の募集・選定
- ② 選定した木材輸出産地への支援
- ③ 成果報告会の開催

採択した実施者・実施内容の概要

実施者名	実施内容
くまもと県産木材輸出促進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ くまもと県産木材輸出産地育成検討会の開催（2回開催） ・ 輸出産地育成向けセミナーの開催 ・ 先駆的取組事例の調査及び情報収集・分析 ・ 輸出事業計画策定ワークショップの開催

（2）企業連携型木材製品輸出促進

- ① 企業連携によるモデル的な木材製品輸出の取組の募集・選定
- ② 選定した企業連携によるモデル的な木材製品輸出の取組への支援
- ③ 成果報告会の開催

採択した企業連携型輸出促進モデル事業の概要

取組事業名	実施グループ（中核企業）
米国の剣道場向け床材の販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・ ミニチュア弾性剣道床の作成、現地ニーズ調査 ・ PR ツールの作成 	株式会社五感

<p>ヒノキの特徴を生かした木香製品の中国向け輸出取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国向けヒノキ木香製品の試作 ・ 輸出促進プロモーション ・ 商談会の開催 	東盛商事株式会社
<p>米国向けタイニーハウスキットの販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普及 PR 活動 ・ タイニーハウスキットの試作と展示 	株式会社戸田工務店
<p>欧州向け焼杉を活かした離れ屋の販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地ニーズに即した離れ屋の試作 ・ 普及 PR 活動 	都築木材株式会社
<p>オーストリア等向け組立式和室の試作と展示活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組立式和室の試作 ・ 現地での展示、販促活動 	愛媛県産材製品市場開拓協議会
<p>台湾向け内装材の輸出取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木質内装モデル空間「AWA ギャラリー」の開設、展示品の製作 ・ 商談会、見学会の開催 	台湾徳島木材輸出グループ
<p>中東向けスギ・ヒノキ製品の展示・商談活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地出展 PR・商談活動 	IWS 株式会社

(3) 国内外における木造技術講習

① 海外における木造軸組構法技術講習会の開催

中国、韓国で各3回、2回の開催

② 国内における木造軸組構法技術研修会の開催

1回開催

5. 輸出先国の規格・基準等に対応した技術開発等支援事業（令和3年度補正）

付加価値の高い木材製品の輸出拡大のため、輸出先国のニーズや規格・基準等に対応した製品開発や性能試験・実証を行う取組を支援した。

本事業の公募では9件の応募があり、有識者・木材関連団体等からなる検討委員会での審査により以下の6件を採択した。

No.	応募者名	事業名	対象国
1	BX カネシン(株)	中国における日本産木材を使用した構造体の実大実験と検証	中国
2	一社全国木材検査・研究協会	米国の基準等に基づき米国で許容特性値を得るためのヒノキ構造材の強度試験	米国
3	ライフデザイン・カバヤ(株)	ベトナム向け木造戸建住宅の市場開拓事業	ベトナム
4	(共同提案) 東盛商事(株) (株)ウッド・リー	中国のニーズ等に対応した組子キットの設計開発	中国
5	(株)戸田工務店	米国における日本の木造伝統軸組構法を取り入れた住宅の技術開発と設計ガイドラインの作成	米国
6	(株)ウッドボックス	米国中高所得者層向け国産ヒノキ材を活用した風呂等の開発及び現地ホテルにおける実証事業	米国

採択された事業の実施については、新型コロナウイルスへの対応を配慮し、Zoom等の活用により各実施者とも事業計画の達成に努めた。

3月16日には、事業内容と成果等を広く普及するため、成果報告会をWebにより開催し、さらに、成果報告会の発表資料及び成果報告書は、当協会のホームページに掲載して、事業成果の普及を図った。

第3 総務に関する事項

1. 理事会について

第1回理事会

開催日：令和4年6月10日（書面審議による理事会）

議事：

- (1) 令和3年度事業報告書（案）について
- (2) 令和3年度決算報告書（案）について
- (3) 定款の一部改正について
- (4) 理事候補者の推薦について
- (5) 会費の改定について
- (6) 定時総会の開催日時、場所、議題等について
- (7) 常勤役員の報酬について
- (8) 業務執行状況について

報告事項

- (1) 会員の加入状況報告について

第2回理事会（書面審議による理事会）

開催日：令和4年6月29日

議事：

- (1) 副会長の選任について
- (2) 専務理事の選任について

第3回理事会（書面審議による理事会）

開催日：令和5年3月24日

議事：

- (1) 令和5年度事業計画書（案）について
- (2) 令和5年度収支予算書（案）について
- (3) 令和4年度における業務執行状況について

2. 定時総会について

開催日：令和4年6月29日

議事：

- (1) 令和3年度事業報告書について

- (2) 令和3年度決算報告書について
- (3) 定款の一部改正について
- (4) 理事の選任について
- (5) 会費の改定について
- (6) 常勤役員の報酬について

報告事項

- (1) 令和4年度事業計画書及び収支予算書について
- (2) 会員の加入状況報告について